

## 令和 2 年度 京都府立桂高等学校 学校経営計画 (スクールのマネジメントプラン) (計画段階)

学校経営方針 (中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造性に富み、心豊かな、たくましい人間の育成を図る。</li> <li>・地域に根ざし、地域に愛される「地域の高校」を目指し、学力の向上と調和のとれた人格の形成を図る。</li> </ul> <p>1 学力の向上と希望進路の実現</p> <p>2 学習と部活動の高いレベルでの両立</p> <p>3 「探究活動と研究の柱」の推進</p> <p>4 生徒の自主活動の推進</p> <p>5 地域連携や地域貢献のさらなる充実</p>	<p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 近隣の小中学校をはじめ、大学や民間機関等との連携において効果的な学習成果と地域貢献を果たすことができた。</li> <li>2 専門学科では、課題研究を通じて、全国大会をはじめ、各種コンテストにおいても高い評価を受けることができた。普通科研究コースにおいても KRP を軸とした探究学習を推進することができた。</li> <li>3 自主自立の校風のもと、生徒会活動や部活動等において充実した活動ができた。</li> <li>4 説明会やブログを含む本校ウェブサイトの効果的な活用等により、幅広い広報活動を行うことができた。</li> </ol> <p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 専門学科の将来構想 (学科改編) と普通科のコース改編</li> <li>2 学習指導要領の改訂を踏まえた「授業改善」「3 観点別評価に向けた定期考査等の改善」「評価システムの見直し、構築」</li> <li>3 新しい大学入試改革への対応</li> <li>4 学校の ICT 化のさらなる推進</li> </ol>	<p><b>1 特色ある学校づくりの推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門学科の将来構想と普通科のコース改編を含めた方向性の検討、明確化</li> <li>(2) SSH の取組成果を生かした研究活動としての TAFS、KRP の推進</li> <li>(3) 地域連携や地域貢献のさらなる充実と発展</li> </ol> <p><b>2 学習、進路指導</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒を伸ばす、学力向上に向けた学校としての進路指導体制の確立</li> <li>(2) 生徒を伸ばす、進路実現のための教科間の連携</li> <li>(3) 部活動生徒の活動支援と併せた学習指導の充実</li> </ol> <p><b>3 生徒指導</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自主自立のもと、学校のルールやマナーを遵守した基本的生活習慣の確立</li> <li>(2) 生徒個々が自覚と責任をもち、自立した行動</li> <li>(3) 学校行事等のさらなる充実を通じて、自主的・主体的に物事を考え、創造性豊かな生徒の育成と「桂プライド」の醸成</li> <li>(4) 服装・身だしなみ指導、自転車指導、基本的生活習慣の確立</li> </ol> <p><b>4 人権教育及び教育相談及び特別支援教育</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権尊重の正しい判断の育成</li> <li>(2) いじめの未然防止と組織的な対応</li> <li>(3) 障害のある生徒への対応と合理的配慮に基づく対応の充実</li> </ol>

## 令和2年度 京都府立桂高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

評価領域	重点目標	具体的方策	No	評価	成果と課題
組織・運営	◇各種会議の組織体制を整備し、各分掌の機能を活性化させる。	◆各分掌部長は学校運営にあたって、校長の経営方針をよく理解し、本校の教育活動全般の活性化に向けて分掌を組織的に導き、活力ある学校運営を行う。	1		
	◇地域の信頼を高める学校づくりを行う。	◆小・中学校との連携をさらに深めるため、公開授業や出前授業を実施する。	2		
	◇令和3年度入学者選抜の改善に向け学校の特色化を図る。	◆中学生等に対する広報活動の在り方の研究や、選抜方法の工夫・改善を行い、本校が求める生徒の募集につなげる。	3		
	◇探究活動等の新学習指導要領の先行実施を組織的に遂行する。	◆教科主任会議をはじめ、各種会議等を組織的に連動させ、探究活動等を推進する。	4		
	◇ICT活用について、研究を進める。	◆令和2年度入学生教育課程の効果的な実施、新しい指導要領となる令和4年度入学生教育課程編成等について組織的に取り組む。 ◆「ICT推進プロジェクトチーム」を中心とした校内システムの検討、改善を進める。	5		
学習指導	◇「よりよい授業」構築のため、教科指導力を向上させ、生徒の学力充実に繋げる。	◆公開・研究授業週間を年2回実施し、授業アンケートの結果等も踏まえて、教員全員が授業力の向上のため研鑽する。 ◆授業規律の確立について、全教職員が共通の意識を持ち一致した指導を行うことによって、生徒が集団として学習意欲を持って授業に取り組める基礎を作る。	6		
	◇希望進路の実現につながるよう学力を向上させる。	◆各分掌や各教科において生徒の学力の向上と希望進路の実現に向けて創意工夫を重ねるとともに情報を共有し組織的に取り組む。	8		
		◆科目選択を適切に行えるよう、担任と各分掌が生徒及び保護者に対する的確な説明をする。	9		
	◇教科に対する興味と学習意欲を高め、学力を向上させる。	◆土曜授業を3年生全学科において実施し、学力を向上させる。	10		
		◆学習強化週間（年間計10週間）を定期考査毎に実施し、自学自習・自主自律を基本とした学習習慣を身につけさせる。	11		
		◆各学年で、生徒の実態を踏まえ、進路希望に応じた行事を開催し、教科指導と連携しつつ学習意欲を高める。	12		
生徒指	◇生徒指導の現状と課題について、教職員の共通理解を深め、基本的生活習慣と規範意識を	◆日常の生活指導の状況について教職員にきめ細かな連絡相談、報告を行う。	13		
		◆生徒指導部と学年部、各分掌が連携して授業規律の確立、服装・頭髪指導、遅刻指導にあたる。	14		

導	確立させる。					
特別活動等	◇生徒会を中心にリーダーを育成し、生徒の自主性を育む。	◆生徒会が学校生活のさまざまな面でリーダー性を発揮できるように、生徒指導部を中心に適切な指導を行う。 ◆学園祭会議を通して、文化祭や体育祭を全校生徒が自主的に取り組むような行事とする。	15			
	◇部活動と学習を両立させ、部活動や野外活動等で学ぶ集団行動や規範意識を生涯にわたる基礎とする。	◆部加入率を高めるだけでなく活動内容も充実させ、学校全体を活性化する。 ◆野外活動や研修旅行の教育的意義を十分に理解させ、生涯学習の礎とする。	16	17	18	
進路指導	◇生涯を見通した進路選択のための適切な指導と援助を行う。	◆3年間の系統的な進路指導計画を策定し、適切な時期に的確な資料・情報を提供する。また、個に応じた指導を重視する。	19			
	◇希望進路実現のために必要な学力の充実と向上を図る指導と援助を行う。	◆就職希望者のために説明会やガイダンス等を実施し生徒の希望の進路を実現させる。 ◆生徒の実態に即した進学補習計画（平日補習・長期休業中補習）を効率的に運用するとともに、模擬試験や実力テストを積極的に受験させ活用し、新しい大学入試等に対応できるようにする。	20	21		
人権教育	◇教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、一人一人を大切にした教育を推進する。	◆日常の教育活動全般をとおして人権問題を自らの生き方の問題として捉えさせる。また、人権学習の講演や映画鑑賞を通じて自己と他者（社会）との関わりを考えさせる。特に、いじめや差別を許さない生徒の育成に努める。	22			
健康・安全教育	◇健康・安全についての意識を高め、自律的な生活習慣を確立させる。	◆健康診断の結果を基本的な生活習慣の確立への指導につなげる。 ◆保健委員会活動を通して、生徒自らが健康、美化活動などに取り組むよう指導する。	23	24		
	◇教育相談を充実させる。	◆配慮や支援の必要な生徒の将来の自立を見据え、教育相談・特別支援会議を通じた情報共有を促進し、個に応じた取組を学校全体として行う。	25			
	◇校内の環境美化を推進する。	◆日常の清掃活動の徹底とともに、重点的な大掃除を実施し校内美化と学習環境の整備を行う。	26			
渉外・広報	◇広報活動を充実し、学校情報を迅速に提供する。	◆ウェブサイトをより見やすく、わかりやすく更新し、広報誌「桂だより」を地域に回覧するなど、本校の教育活動への関心を高め、理解を促す。	27			
	◇積極的な生徒募集、本校への志願者の増加の取組を実施する。	◆学校公開・説明会、部活動見学、公立学校合同説明会などを通じて、また直接中学校へ出向き、中学生・保護者に本校の学校経営の重点や今後の方向性などを十分に伝え、本校への志願者を増やす。	28			
	◇外部評価を積極的に取	◆保護者・PTA・学校評議員・学校評価委員との連携を				

事 報 ・ 事 務	り入れ、学校改善に生 かす。	強化するとともに、中学生が本校に期待し、求めるもの を十分に把握する。	29			
	◇学校施設の改修及び多 面的な学習環境の整備 を行っていく。	◆本校教育活動の円滑な推進及び生徒の安心・安全を第 一に学校施設の効率的な活用を考え、整備していく。	30			
研 究 ・ 開 発	◇農業・環境のスペシャ リスト育成を目指し研 究開発に取り組む。	◆TAFS (Training in Agriculture for Future Specialists) プログラムを深化させ、地域や社会の健全 で持続的な発展を担うスペシャリストを育成する教育 課程の研究開発に取り組む。	31			
	◇専門科目の授業、教科 指導の充実・発展に取 り組む。	◆TAFSや専門学科の教科指導、フィールド科学実習、 農業クラブ活動を通して専門性を高め、地域社会と協 働的に取り組む態度を養う。	32			
		◆TAFSプログラムを核とした専門学科教育の中で主体 的・対話的で深い学びを通して、社会で活躍できる生徒 の育成に努める。	33			

学校関係者評価委員会による 評価	
---------------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--